

## 2019 国際教養科 NEWS 9月

## 新規採用のALTとの交流会(8/16)

毎年恒例となった新規ALTの先生方との交流会が8月16日長野県庁で開かれ、今年も本校1年国際教養科の生徒が参加しました。新しく長野県に配属された30名のALTが集まり、1年6組の生徒たちが、日本の文化や長野県の風土、伝統文化などを紹介しながら、一緒に活動し、交流を深め、あわせて英会話の勉強としても有意義な時間を過ごすことができました。

今年も交流会に向けて、事前に県の国際課のスタッフが学校に見えて Workshop を行い、内容を検討し、十分な準備をして当日を迎えました。

けん玉・すごろく・紙風船、英語のクイズによる椅子取りゲーム、「坊主めぐり」、書道、折り紙の体験グループとパワポを使った長野の文化紹介のグループに分かれ、ALTの先生方が順番にすべてを体験するというプログラムでした。それぞれのグループを担当した生徒達は、説明をすべて英語で行い、お手本を示し、一生懸命ALTたちに教えていました。大変楽しいひとときを過ごすことができました。



事前のワークショップ



折り紙や習字を熱心に教える生徒達



入念な準備をして臨んだプレゼン。大成功！



9-②



## 中国人留学生(第14期生)受け入れ開始



9月9日(月)、中国人留学生の第14期生 孟沁培(もうしんばい)さんが本校にやって来ました。来年の7月までの約11ヶ月間、国際教養科1年6組に在籍し一緒に勉強することになりました。

彼女は、かつては中国の都であった長安(現在の西安)にある西安外国語大学附属西安外国語学校の生徒です。中国の学校では、朝7:00の授業開始、夕方6時までの超ロングランの厳しい日課で1年間日本語をみっちり勉強し

てきたので、日本語はとても上手です。明るくまじめな性格で、大好きな美術を始めとして、いろいろなことに積極的に挑戦していきこうという姿勢がうかがえます。クラスの生徒たちともすぐに打ち解けていました。これから多くのことを学び、将来は日中両国の架け橋となるよう頑張ってもらいたいと思います。

